



2019年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年2月14日

上場会社名 あいホールディングス株式会社
 コード番号 3076 URL <http://www.aiholdings.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 佐々木 秀吉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 吉田 周二

TEL 03-3249-6335

四半期報告書提出予定日 2019年2月14日

配当支払開始予定日

2019年3月11日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期第2四半期の連結業績(2018年7月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|-------|-----|-------|-----|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年6月期第2四半期 | 28,202 | 1.7 | 4,377 | 2.9 | 4,542 | 4.0 | 3,157 | 0.9 |
| 2018年6月期第2四半期 | 28,677 | 15.1 | 4,506 | 6.4 | 4,732 | 6.1 | 3,186 | 10.0 |

(注) 包括利益 2019年6月期第2四半期 3,097百万円 (16.8%) 2018年6月期第2四半期 3,722百万円 (5.2%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年6月期第2四半期 | 66.67 | |
| 2018年6月期第2四半期 | 67.28 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2019年6月期第2四半期 | 60,845 | 45,857 | 75.3 | 968.30 |
| 2018年6月期 | 59,696 | 43,707 | 73.2 | 922.89 |

(参考) 自己資本 2019年6月期第2四半期 45,818百万円 2018年6月期 43,673百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2018年6月期 | | 18.00 | | 20.00 | 38.00 |
| 2019年6月期 | | 20.00 | | | |
| 2019年6月期(予想) | | | | 20.00 | 40.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年6月期の連結業績予想(2018年7月1日～2019年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-----|-------|-----|-----------------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 57,500 | 5.4 | 9,500 | 5.7 | 9,800 | 5.5 | 6,600 | 7.7 | 139.36 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|------------|--------------|------------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2019年6月期2Q | 56,590,410 株 | 2018年6月期 | 56,590,410 株 |
| 期末自己株式数 | 2019年6月期2Q | 9,231,069 株 | 2018年6月期 | 9,230,959 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2019年6月期2Q | 47,359,426 株 | 2018年6月期2Q | 47,360,163 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 9 |
| (会計方針の変更) | 9 |
| (会計上の見積りの変更) | 9 |
| (追加情報) | 9 |
| (セグメント情報等) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や堅調な雇用・所得情勢を受けて穏やかな回復基調が継続しました。一方、海外において、米国経済の企業概況は堅調さを維持しているものの、中国経済は米中摩擦による輸出下振れの影響で停滞局面が続き、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては環境変化に機動的に即応し、効率性や採算性を考慮した社内体制の強化・整備を図り、利益重視の経営を推進いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は282億2百万円（前年同四半期比1.7%減）となり、営業利益は43億7千7百万円（前年同四半期比2.9%減）、経常利益は45億4千2百万円（前年同四半期比4.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は31億5千7百万円（前年同四半期比0.9%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① セキュリティ機器

セキュリティ機器につきましては、マンション向けの自社更新が今期より大幅に増加したことに加え、一般法人向けも堅調であったことにより、売上高は63億1百万円（前年同四半期比0.8%増）、セグメント利益は25億7千5百万円（前年同四半期比10.2%増）となりました。

② カード機器及びその他事務用機器

カード機器及びその他事務用機器につきましては、鉄骨業界向けの専用CADソフトの販売が引き続き堅調に推移すると共に、NBS Technologies Inc. の業績が回復基調にあることにより、売上高は32億6千5百万円（前年同四半期比0.0%増）、セグメント利益は4億3千2百万円（前年同四半期比0.3%減）となりました。

③ 情報機器

情報機器につきましては、海外市場におけるコンシューマ向け小型カッティングマシンの販売の伸び悩みと共に米国による追加関税の影響により、売上高は85億6千9百万円（前年同四半期比3.0%減）、セグメント利益は9億5千2百万円（前年同四半期比16.0%減）となりました。

④ 計測機器及び環境試験装置

計測機器及び環境試験装置につきましては、計測機器が堅調に推移すると共に金属検査装置も収益に貢献し始めたことにより、売上高は10億9百万円（前年同四半期比0.8%増）、セグメント利益は6千万円（前年同四半期比91.5%増）となりました。

⑤ 設計事業

設計事業につきましては、耐震診断関連の需要一巡に加えて7月の集中豪雨による自然災害の影響を受けたことにより、当四半期累計期間では売上高は21億2千4百万円（前年同四半期比8.1%減）、セグメント利益は1億4千3百万円（前年同四半期比50.9%減）となりました。

⑥ リース及び割賦事業

リース及び割賦事業につきましては、売上高は48億7千7百万円（前年同四半期比9.8%減）、セグメント利益は1億3千5百万円（前年同四半期比36.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて11億4千9百万円増加し、608億4千5百万円となりました。主な要因は、流動資産における現金及び預金4億6千8百万円増加、受取手形及び売掛金7億5千1百万円増加、リース投資資産9億2千9百万円減少、投資その他の資産における関係会社株式7億6千8百万円増加等であります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて10億円減少し、149億8千8百万円となりました。主な要因は、流動負債におけるリース債務9億9千7百万円減少等であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて21億5千万円増加し、458億5千7百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益31億5千7百万円の計上、配当金9億4千7百万円の計上等であります。この結果、自己資本比率は75.3%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、203億7千1百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億8千万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は24億9千6百万円(前年同四半期は25億6千2百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益45億6百万円、仕入債務の増加額4億7百万円等の収入に対し、法人税等の支払額16億3千3百万円、売上債権の増加額7億5千7百万円等の支出があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は9億7千2百万円(前年同四半期は19億7千8百万円の支出)となりました。これは主に、貸付金の回収による収入1億2千万円の収入に対し、関係会社株式の取得による支出6億5千8百万円、有形固定資産の取得による支出1億8千6百万円等の支出があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は10億5千万円(前年同四半期は9億6千8百万円の支出)となりました。これは主に、配当金の支払額9億4千7百万円の支出があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成30年8月17日付の「平成30年6月期決算短信」にて公表いたしました業績予想に変更はありません。

今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2018年6月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (2018年12月31日) |
|-----------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 20,948 | 21,417 |
| 受取手形及び売掛金 | 7,677 | 8,428 |
| リース投資資産 | 4,361 | 3,431 |
| 商品及び製品 | 4,756 | 4,996 |
| 仕掛品 | 551 | 519 |
| 未成工事支出金 | 189 | 240 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,003 | 996 |
| その他 | 1,204 | 1,085 |
| 貸倒引当金 | △44 | △44 |
| 流動資産合計 | 40,648 | 41,071 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,470 | 1,430 |
| 土地 | 4,626 | 4,626 |
| その他(純額) | 1,428 | 1,400 |
| 有形固定資産合計 | 7,525 | 7,457 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 2,889 | 2,883 |
| その他 | 354 | 356 |
| 無形固定資産合計 | 3,244 | 3,239 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,964 | 1,963 |
| 関係会社株式 | 4,521 | 5,290 |
| その他 | 1,809 | 1,841 |
| 貸倒引当金 | △18 | △17 |
| 投資その他の資産合計 | 8,277 | 9,077 |
| 固定資産合計 | 19,047 | 19,774 |
| 資産合計 | 59,696 | 60,845 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2018年6月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (2018年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 3,938 | 4,348 |
| リース債務 | 4,021 | 3,023 |
| 未払法人税等 | 1,156 | 926 |
| 賞与引当金 | 130 | 155 |
| 製品保証引当金 | 0 | 0 |
| 受注損失引当金 | 6 | 5 |
| その他 | 2,652 | 2,524 |
| 流動負債合計 | 11,907 | 10,985 |
| 固定負債 | | |
| リース債務 | 1,018 | 1,045 |
| 退職給付に係る負債 | 1,339 | 1,358 |
| 資産除去債務 | 8 | 8 |
| その他 | 1,715 | 1,590 |
| 固定負債合計 | 4,081 | 4,003 |
| 負債合計 | 15,988 | 14,988 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,000 | 5,000 |
| 資本剰余金 | 9,030 | 9,030 |
| 利益剰余金 | 34,555 | 36,765 |
| 自己株式 | △4,700 | △4,701 |
| 株主資本合計 | 43,885 | 46,095 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 250 | 194 |
| 為替換算調整勘定 | △412 | △425 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △49 | △45 |
| その他の包括利益累計額合計 | △211 | △276 |
| 非支配株主持分 | 33 | 39 |
| 純資産合計 | 43,707 | 45,857 |
| 負債純資産合計 | 59,696 | 60,845 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年12月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 28,677 | 28,202 |
| 売上原価 | 17,790 | 17,264 |
| 売上総利益 | 10,887 | 10,937 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 役員報酬 | 152 | 186 |
| 給料及び手当 | 2,099 | 2,086 |
| 賞与 | 394 | 420 |
| 賞与引当金繰入額 | 120 | 113 |
| 退職給付費用 | 106 | 105 |
| その他 | 3,507 | 3,648 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 6,380 | 6,560 |
| 営業利益 | 4,506 | 4,377 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1 | 3 |
| 受取配当金 | — | 0 |
| 持分法による投資利益 | 185 | 185 |
| 為替差益 | 24 | — |
| その他 | 23 | 13 |
| 営業外収益合計 | 236 | 203 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 4 | 2 |
| 為替差損 | — | 12 |
| 貸倒引当金繰入額 | 0 | 0 |
| 支払手数料 | — | 11 |
| その他 | 4 | 11 |
| 営業外費用合計 | 9 | 38 |
| 経常利益 | 4,732 | 4,542 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 136 | — |
| 固定資産売却益 | — | 0 |
| その他 | 3 | — |
| 特別利益合計 | 139 | 0 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 1 | 4 |
| 事業構造改善費用 | 12 | — |
| 事務所移転費用 | — | 27 |
| その他 | 2 | 3 |
| 特別損失合計 | 15 | 35 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 4,856 | 4,506 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,508 | 1,407 |
| 法人税等調整額 | 158 | △63 |
| 法人税等合計 | 1,667 | 1,344 |
| 四半期純利益 | 3,189 | 3,162 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 2 | 5 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 3,186 | 3,157 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年12月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 3,189 | 3,162 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 398 | △52 |
| 為替換算調整勘定 | 109 | 19 |
| 退職給付に係る調整額 | 7 | 4 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 17 | △36 |
| その他の包括利益合計 | 533 | △65 |
| 四半期包括利益 | 3,722 | 3,097 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 3,719 | 3,092 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 2 | 5 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年12月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 4,856 | 4,506 |
| 減価償却費 | 327 | 381 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △138 | 1 |
| 製品保証引当金の増減額(△は減少) | 1 | △0 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △10 | △4 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 28 | 24 |
| 受注損失引当金の増減額(△は減少) | 6 | △0 |
| 受取利息及び受取配当金 | △1 | △3 |
| 支払利息 | 4 | 2 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △185 | △185 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △1,153 | △757 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △524 | △239 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 657 | 407 |
| 前受金の増減額(△は減少) | △34 | 52 |
| リース投資資産の増減額(△は増加) | 63 | 63 |
| その他 | 279 | △149 |
| 小計 | 4,177 | 4,100 |
| 利息及び配当金の受取額 | 22 | 31 |
| 利息の支払額 | △4 | △2 |
| 法人税等の支払額 | △1,846 | △1,633 |
| 法人税等の還付額 | 214 | — |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,562 | 2,496 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △1,035 | △35 |
| 定期預金の払戻による収入 | 35 | 46 |
| 事業譲受による支出 | — | △120 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △527 | △186 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △53 | △29 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △500 | △76 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 151 | — |
| 関係会社株式の取得による支出 | — | △658 |
| 貸付けによる支出 | △105 | △42 |
| 貸付金の回収による収入 | 81 | 120 |
| その他 | △25 | 9 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,978 | △972 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 配当金の支払額 | △851 | △947 |
| その他 | △117 | △103 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △968 | △1,050 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 54 | 7 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △329 | 480 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 17,892 | 19,891 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 17,562 | 20,371 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年7月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | | その他 (注) 1 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-------------------------------|--------------|-----------------------------|-------|----------------------|-------|-------------------|--------|--------------|--------------|--------------------------------|
| | セキュリ ティ機器 | カード機 器及びそ の他事務 用機器 | 情報機器 | 計測機器 及び環境 試験装置 | 設計事業 | リース 及び 割賦事業 | 計 | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | | |
| 外部顧客へ の売上高 | 6,251 | 3,264 | 8,836 | 1,001 | 2,312 | 5,409 | 27,075 | 1,601 | 0 | 28,677 |
| セグメント 間の内部売 上高又は振 替高 | 89 | 93 | 25 | — | 0 | 1 | 210 | 88 | △298 | — |
| 計 | 6,340 | 3,358 | 8,862 | 1,001 | 2,312 | 5,410 | 27,285 | 1,690 | △297 | 28,677 |
| セグメント 利益 | 2,336 | 433 | 1,134 | 31 | 291 | 99 | 4,326 | 132 | 46 | 4,506 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、カードリーダー及び自動おしぼり製造機の製造・販売、保守サービスの提供、並びに、ソフトウェアの開発・販売等を行っております。

2. セグメント利益の調整額46百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益43百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年7月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | | その他 (注) 1 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-------------------------------|--------------|-----------------------------|-------|----------------------|-------|-------------------|--------|--------------|--------------|--------------------------------|
| | セキュリ ティ機器 | カード機 器及びそ の他事務 用機器 | 情報機器 | 計測機器 及び環境 試験装置 | 設計事業 | リース 及び 割賦事業 | 計 | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | | |
| 外部顧客へ の売上高 | 6,301 | 3,265 | 8,569 | 1,009 | 2,124 | 4,877 | 26,148 | 2,053 | 0 | 28,202 |
| セグメント 間の内部売 上高又は振 替高 | 25 | 60 | 32 | — | 0 | 1 | 120 | 67 | △187 | — |
| 計 | 6,326 | 3,326 | 8,602 | 1,009 | 2,124 | 4,879 | 26,268 | 2,121 | △187 | 28,202 |
| セグメント 利益 | 2,575 | 432 | 952 | 60 | 143 | 135 | 4,299 | 47 | 29 | 4,377 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、カードリーダー及び自動おしぼり製造機の製造・販売、保守サービスの提供、並びに、ソフトウェアの開発・販売等を行っております。

2. セグメント利益の調整額29百万円には、セグメント間取引消去△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益34百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。